

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	・自立支援型デイサービス今日まる。・茶話本舗本納亭 ・デイサービス清和の里・ほのか・デイサービスセンター長生東 ・KENKOウォーク茂原		
サービス種別	地域密着型通所介護		
所在地			
担当者	長生東：林 正貴	連絡先	0475-34-7755
運営法人			

2. 開催日時・場所

日時	令和6年11月25日	場所	ほのおか館 第1会議室
----	------------	----	-------------

3. 出席者

番号	氏名(敬称略)	分野	備考(所属・従事経験など)
①	■■■■	利用者又は利用者の家族	清和の里利用者家族
②	大川・御園・渡邊	地域住民の代表者	民生委員
③	野方	市の職員又は地域包括支援センターの職員	茂原市ほんのう地域包括支援センター
④	斎藤	市の職員又は地域包括支援センターの職員	茂原市役所高齢者支援課
⑤	野口	市の職員又は地域包括支援センターの職員	茂原市役所地域包括支援室
⑥	石田		本納駐在所
⑦	小関・中間・林・門脇・斎藤・江沢・萩野	事業所職員	各事業所担当者
⑧			

4. 活動状況報告

会議資料の通り

5. 評価・意見・要望・質問

	内容
①	ほんのう地域包括野方センター長より他町村からの利用相談や受け入れについて質問。KENKOウォーク門脇他町村受け入れについての概要の説明。今日まる。小関「今でも相談はあるが地域密着型なので断っている」高齢者支援課斎藤氏「事業所の秋の割合など決められてる要件に沿って判断している」長生東林「要支援者も含めて地域密着サービスの観点から受け入れはしない」
②	民生委員より「(KENKOウォークの資料に)事業対象とあるが？」KENKOウォーク門脇「以前は大網、白子から事業対象者の受け入れ依頼があり受け入れていた」茂原市地域包括支援室野口氏「茂原市では対象者が多くチェックリスト相当への振り分けはしていない」
③	清和の里利用者家族 〇〇氏の意見「デイと家族の連携がしっかりとれていればある程度の事故などはさほど問題にならないと思う。疾病の早期発見ができるのが助かっている。よくみてもらえているので家族としてとても安心です。家族は素人なのでデイで専門の看護師が対応してくれるのが助かる。気軽に相談できるのがありがたい。負担を軽くしてもらえる。この会議があること自体が安心できる。民生委員が来てくれたりするのでこの地域に住んでいる人は恵まれているのではないかと思います」
④	今日まる。小関より「独居の迎えの時に倒れていた。情勢で鍵も閉まっていて電話も出ない。家族として鍵を預けたりは抵抗ありますか？」清和の里利用者家族 〇〇氏「事業所の事件も多いので場合によっては預けても良いと思っています。新治民生委員「3名ほど鍵の隠し場所は聞いています。でもなかなか抵抗はあると思います。色々な犯罪やサービス事業所の事件も報じられているので。」
⑤	豊岡民生委員「災害時の避難所。介護を受けている人を受け入れられる設備はないんだよね。健常者が過ごす設備しかない。空調もない。ベッドも段ボールなど。最終的には施設で利用者の受け入れができればその人たちが保護できるのだろう。そのためには非常電源など市役所が補助などを出して整備するべきだろう」長生東林「災害に関しては市内の地域密着デイで協定を検討している。協定はどこまで助け合うかを具体的に考える予定。市役所は高齢者だけを考えるわけにはいけないので我々事業者でできることを考えて有事に備えることが大切だと思う」
⑥	本納駐在石田氏「茂原市管内で死亡事故が多発していて危機的状況。高齢者の事故が多い。死亡事故の6割は高齢者。歩行者と自転車の事故が多い。高齢者の飲酒も多い。65歳以上の男性が半分以上。本納管内でも死亡事故が起きているので注意してほしい。事件に関しては強盗のとっかかりで下見に来る。本納、萱場でもでている。「この近くの〇〇さんの近くで工事車両が通ります。あれ？屋根に穴が開いてます。5千円で直しますよ」と言って屋根に上げると壊して法外な金額を請求する。資産状況を調べて強盗に入ることある。井戸端会議でもお金の話はしないでください。電話で詐欺は毎日のように茂原管内でもかかってきている。家族の資産状況など言わないでください。シールを作成したので電話や玄関に貼ってもらうなど啓発をお願いします。

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

本納地域の地域密着型通所介護合同で運営推進会議を開催した。開催に際しては各事業所で概要や役割などを話し合い、実際の会議だけでなく開催の過程で地域内での連携の意識は高まった。利用者家族からの話もあったが、会議に民生委員を始めとして包括、駐在も参加して地域の高齢者支援について話し合える良い機会であると感じた。

参加者同士の意見交換の時間がもう少し多いと良いかと感じたが、運営推進会議は運営の透明性を図ることを目的としている為、事業所報告の時間が多く、このような地域の高齢者を支援する資源が集まったの意見交換の場が他にあると良いのかとも感じた。

会議の構成員の「地域密着型通所介護の知見を有する者」として本納地域の各居宅介護支援事業所にも参加の打診をした。銀のカーネーションのみ参加の回答があったが当日出席がなく、知見を有する者がいない状況での会議だった。会議の意義をしっかりと説明して出席を促し、また居宅介護支援だけでなく当該分野の構成員を考える必要があると感じた。

市内の他の圏域の事業所の見学も募り何か所か来ていた。他圏域でも本納地域同様に合同での開催ができる様々なメリットがあると思うので茂原市地域密着型通所介護協議会を通してバックアップして進めていきたい。来年度以降も本納地域では合同開催の予定。(長生東:林)

7. 地域からの情報提供

本納駐在より⑥参照

8. その他特記事項

来年度も本納地域事業所で合同開催の予定。